

住教育副読本(教材)編集部会の検討状況等

1. 編集部会開催状況について

- (1) 日 時 平成 30 年 1 月 24 日(水)午後 3 時 30 分から 5 時 30 分まで
- (2) 会 場 県庁議会棟 1 階 A 会議室
- (3) 出席者 北原部会長、馬渡委員、木村委員及び住教育検討ワーキンググループ(WG)メンバー
- (4) 検討内容

今回は、住教育教材の構成等に学校側の意見を反映させるため、WG との合同会議とした。主な検討内容は以下のとおり。

① 住教育副読本(教材)について

WG で作成した住教育副読本(教材)の構成案等について協議

- ・高校向けの住教育教材とリーフレットとの棲み分けを明確に
- ・高校での授業内容は学校により異なるため、小学校～高校合冊の教材の場合は、学習指導要領に沿い、基礎的な部分に絞る
- ・教員のための使い方ガイドや関連する資料が必要(動画やコンテンツへのリンク等)
- ・高校生向けの教材の内容が一般向けリーフレットとの「つなぎ」となる
- ・教材完成後も、先生方が使い方を議論し、ガイドを補足していく等、バージョンアップが必要
- ・青森らしさのため、暖房費など住生活に関する東北のデータを示すことが必要
- ・学校段階に応じ、科学の視点を取り入れることが大事
- ・今後、WG で検討し県が原案を作成するが、編集業者に発注後、データ、写真、言葉遣いや体裁等を編集業者に提案させ、最終チェックを WG に依頼することとしたい

② 出前授業について

出前授業のメニューについて、リスト案を基に検討(別紙参照)

- ・メニュー数の増加を目的とするのではなく、学校が必要とする出前授業を充実させたい
- ・恒久的な制度となるよう、学校と住生活関係団体との関係を構築したい
- ・防災の分野は中学校が適当

③ 住生活リーフレットの構成案について

リーフレットの内容について、目次案を基に構成を検討

- ・社会人に読んでいただける内容であれば高校教育でも活用できる
- ・高校の課題解決の学習において、課題発見の資料として利用したい

2. 今後の検討予定について

- ・教材の詳細についてワーキンググループと調整
- ・編集事業者選定後、原稿を確認
- ・編集業務の委託は次年度を想定

住教育出前授業メニュー(案)

対象	指導要領(高校は旧版)	項目	出前メニュー	依頼先(今後調整)
小学校				
	快適な住まい方	住まいの主な働き	季節に合わせた住まい方	八戸工専、弘前大学
		住まいの整理・整頓、清掃	そうじのしかた	(一社)青森県ビルメンテナンス協会
	消費生活・環境	環境に配慮した生活	省エネゲーム	青森県環境出前講座(県環境政策課)
中学校				
	住居の機能と安全な住まい方	家族の生活と住空間の関わり	青森県の住宅と住まい方	弘前大学、八戸工専
		家族の安全を考えた住空間	室内の空気汚染を減らそう	(一社)青森県ビルメンテナンス協会
			子どもの事故予防教室	県医療薬務課
			災害に備えた住まい方	県消防学校、県防災教育センター
高等学校				
	住居と住環境	住居の機能、地域社会との関わり	住まいづくり、まちづくり	弘前大学、八戸工業大学、八戸工専
		安全で環境に配慮した生活	災害に備えた住まい方	県消防学校、県防災教育センター
			住まいの耐震	県建築住宅課
	消費生活と生涯を見通した経済の計画	消費生活における適切な意思決定	自分に合った住まいの選び方	(一社)青森県宅建協会
	住生活の科学と文化	住居の機能、住空間の計画、住環境	ライフステージに応じた住まい	日本建築家協会、建築士会、建築士事務所協会
	住生活の設計と創造	家族の生活と住居	ライフステージに応じた住まい	日本建築家協会、建築士会、建築士事務所協会
		快適さの科学と住空間の設計		八戸工業大学、八戸工専
		住居と住環境	まちづくりと防災	NPO法人青森県防災士会
		住生活のデザインと実践	青森県の住宅と住まい方	弘前大学、八戸工専